

報道資料

全国に先駆けて、自治体
とスーパーマーケットが、
一緒に、そう菜の減塩に
取り組みました！

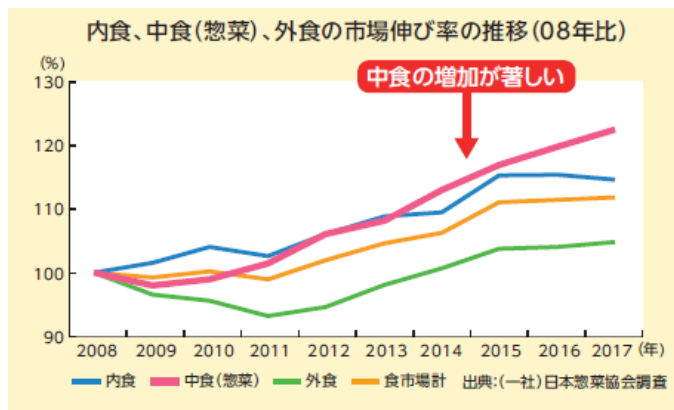
発表日：令和元年9月20日
所 属：健康推進課健康長寿係
担当者：松本・畑口
電 話：0742-27-8662
内 線：2936

「やさしおベジ増しプロジェクト」が始まります！

目的

奈良県では健康寿命日本一をめざし、スーパーマーケット等との協働による「やさしおベジ増しプロジェクト」を始動し、中食(そう菜や弁当等)の減塩及び野菜の増量に取り組んでいます。

背景



中食の増加に着目し、県民の方が、
自然に健康になれる食環境づくりをめ
ざします！

内容

中食(そう菜や弁当)について、これまでよりも調理に使用する調味料を減らして減塩します。
お弁当については野菜も増やします。

具体例

奈良県内に9店舗を展開するスーパーヤオヒコにて、**大和まなの煮浸し**に使用する調味料を段階的に減らす等の試作・試食を行い、20%減のものを販売することになりました。

やさしおベジ増しプロジェクト

身体に
やさしくおいしく
作りました。

「やさしおベジ増しプロジェクト」とは、健康長寿日本一をめざし、奈良県とスーパーマーケット等が協働し、これまでよりも野菜を多く、塩分を抑えたそう菜やお弁当を販売する取り組みです。

当店は「やさしおベジ増しプロジェクト」に参加しています。

お知らせ

プロジェクトのPRとそう菜の試食提供を行います！

とき：9月28日(土)9:00～

ところ：スーパーヤオヒコ北大和店

★減塩前の味付けのものと食べ比べを実施
(先着 120名)

やさしおベジ増しプロジェクトQ & A

「やさしおベジ増しプロジェクト」って何ですか？

奈良県とスーパーマーケット等が協働し、中食（そう菜や弁当等）の減塩や野菜の増量に取り組むことです。



なぜ「減塩」と「野菜」なの？

奈良県民の健康寿命の延伸に大きく影響するものとして、男性は、1 位たばこ、2 位減塩（野菜摂取）、女性は1 位減塩（野菜摂取）、2 位運動という研究結果に基づきます。

中食の利用は増えているの？

高齢者世帯や単身世帯、共働き世帯の増加等により、中食を利用する人は増えています。（一般社団法人日本惣菜協会調査より）

どこのお店が参加しているの？

現在のところ、「スーパーおくやま」と「スーパーヤオヒコ」の全店で実施しています。



どんなそう菜が減塩されているの？

お店によって異なりますが、青菜の煮浸しや、ひじきの煮物等の野菜料理です。対象商品にはプロジェクトのシールを貼ったり、ポップを掲示しています。



ロゴマークと啓発ポップ



キャッチコピーやロゴマークの意味は？

キャッチコピーの「身体にやさしくおいしく作りました。」は、適切な味付けと野菜を食べることで、身体に「やさしい」、減塩しても「おいしい」を表現しています。ロゴマークは野菜を使って料理することをイメージしています。

お店は増えるの？

プロジェクトのPRをしながら参加していただけるお店を増やしているところです。

